

2016年(平成28年) 11月発行



議会だより

第11号


△ 田川地区総合防災訓練 (平成27年11月15日撮影)

9月定例会 おもな内容

- 広域行政事業 **p2**
- 一般質問(町政を問う) **p3 ~ p9**
- 委員会報告 **p10 ~ p11**
- まちはどうなっちゃうと **p13**

全員協議会もよ〜く
見てね!!

p10 ~ p11の下にあるよ!



ギカイくん



たよりちゃん

質問 国の一連の農業改革という大きなプロジェクトの中で、糸田町なる自治体が、何を指し、どのような取り組みを考え、又計画しているかを伺う。尚ここで申す農業

A 稲から園芸作物・狭い土地での収益性の高い農作物への見直し等々。

Q 国の一連の農業改革に対し、糸田町の農業政策を問う。



8番 村上 秀一 議員

一般質問とは
議員が町の仕事全般について、質問したり、政策提言をおこなうことで、糸田町議会では通常一人50分以内でおこない、議会だよりには、要約したものを掲載しています。

町政を問う!!

答弁
(町長)

本町に於ける将来的な農業政策はどうかということであるが、



改革とは、農家が高齢などで引退したり、経営が厳しくて生産をやめてしまったりして、日本の農業が衰退していくのに歯止めをかけようという改革である。

質問

大手の運送会社等がその組織を利用して各地の特産品を輸

A 議員質問の内容、今後の農業政策で十分考えながら進めたい。

Q 自治体が小作者になって特産品の生産に取り組むという方式。

この様な状況を踏まえ、将来的な本町の農業振興や経営所得の安定を考えると、集落営農組織などに依る稲から園芸作物への経営転換や、狭い土地での収益性の高い農作物への見直しなど本町の農業実態を踏まえたものに变化させていくとともに、農業経営そのものを農家全体で改めて考え直す必要があると考える。

収益性の高い農業経営を実現するには、大規模な土地利用型農業への転換など、農業基盤の根本の見直しが重要である。効率を上げる為の農地の大区画化や大型農業機械等の導入が必要となる。



答弁
(町長) 農地集積集約化事業の推進として、現在農家の高齢化や後継者不足などの原因から経営転換、規模縮小する農地の効果的な利用を促進するため、今後の農業政策の転換の中で十分考えながら進めたい。

送、保管、販売、宣伝の分野で一手に引き受けているということだが、生産の分野を自治体が小作という形式でやればそこに雇用も生まれ、生産するのみで採算性も十分考えられるのではないかと。

町民の暮らしに関わる広域行政事業

9月16日 議員団で現地視察



県単位、市郡単位などとする事業だよ。例えば、消防や介護保険、ゴミ・し尿処理などがあるんだよ。

広域行政事業ってなに？



今号では、伊良原ダム(水道事業)とし尿処理施設を紹介!!

伊良原ダム 現在総事業費 約750億円

構成自治体：京築水道企業団・田川地区水道企業団(糸田町・田川市・福智町・川崎町)



▲平成30年3月完成予定に向け福岡県伊良原ダム建設事務所の職員から説明を受ける。



▲全体図



▲ダム建設地の山で碎石された石の工程

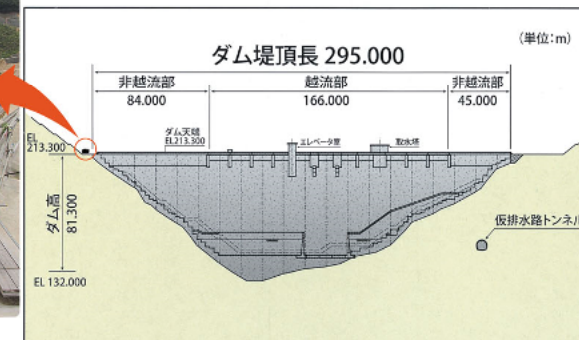
糸田町に水が届くのはいつ??



降水量や工事の補助金によっては届くのが少し伸びるかもというお話でしたよ。



▲ダムの最高水位81.3mの位置で集合写真を撮パチリ!



▲ダム下流面図

し尿処理施設 (大任町)

構成自治体：田川市郡全体



▲施設建設地造成中



▲開発行為により設置しなければならない調整池(豪雨等による下流河川氾濫を防止するため)一時的に水を貯めておく施設

7番 松岡 久 議員



Q 中元寺川がはん濫した場合の避難所について。

A 今後、補助金等の活用も考慮しながら検討していきたい。

質問 住民の安全、安心の確保。先の6月議会で質問した大雨等で中元寺川がはん濫した場合、7カ所が浸水時に使用できない避難所になっており、緊急時は問題が有る。

先月の東北及び北海道のような災害がいつ来てもおかしくない。十分な予防対策や災害発生時の対応を高齢者にもわかりやすくマニュアル化して頂きたい。浸水する7カ所の避難所について町の見解を問う。

答弁(町長) 浸水予定区域で有る7カ所の避難所については、ハザード

マップにおいて周知を図っている。今後の改善計画は、財政的な問題も有る具体的な計画はない。



Q 町道及び町内公道の維持管理はどのようにおこなっているのか。

A 道路パトロール実施要項に基づき実施。

質問 町道の管理について問う。予算が少ない現状では道路状況の点検が出来ないのではないのか。

国交省のアンケートで市町村の80%ができていない。補修の遅れはコ

スト増につながる。国交省は、今年度中に自治体向けの点検要領を作るようだ。

スマートフォンを使った簡易システムも有る。糸田町もぜひ検討されたい。

答弁(課長) 点検・維持管理は道路パトロール実施要領に基づき実施。道路パトロールだけでは把握できない。

道路の段差を計測できるソフトウェアがある。利用に関しては有料になるので、費用対効果を調べ検討したい。

Q 空家対策措置法が施行された、特定空き家の認定について。

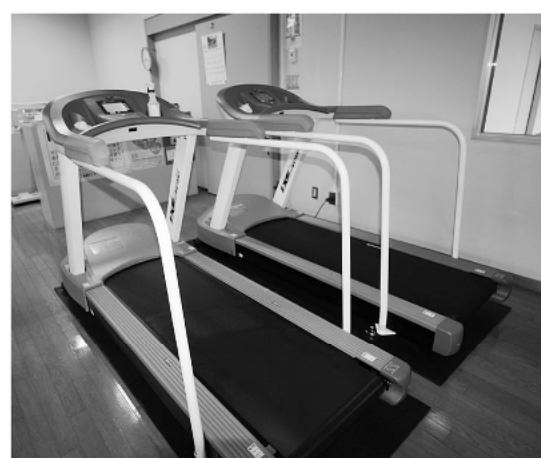
A 空き家等対策協議会において協議する。

質問 空家対策特別措置法は、昨年施行され、空き家の放置を取り締まるための法律で、大変厳しくなっている。昨年、9月議会の回答で、平成24年調査後、特定空き家を

認定すると言っていた。現状までの進捗状況と空き家対策計画等を問う。

Q トレーニングマシンの購入価格を問う。

A ランニングマシン2台とエアロバイク1台を入札。207万円で落札。



Q 宮床町営住宅全棟完成は何年度か。今後の住宅建設の計画を問う。

A 宮床は平成36年度完成。老朽建物は一刻も早く建替が進むよう努力する。

質問 地震が頻繁に起きている。真岡団地の方から不安で眠ることができないといった声もある。町営住宅建設は急がなければならないと思う。今建設されている時期に行うことができるようなこともあるのではないのか。

財政面はしっかり町長がリードして国に訴え、国県からお金を引き出して建設を急いでほしい。

答弁(町長) 宮床団地にある程度めどがついて、その時点で検討委員会等、意見をいただき、次の団地を明確化していこうと考えている。老朽化した建物は一刻も早く建替が進むよう努力したい。



A 情報を取り寄せ、関係機関と協議、検討したい。

Q 地域包括ケアシステムの構築について「認知症カフェ」開設を問う。



3番 小嶋 康子 議員

質問 高齢化が進み、認知症が増えている。

町は対策を急がなければならないと思う。そこで、認知症の人やその家族が交流できる、介護の悩みや制度の仕組みなど気軽に相談できる場所として「認知症カフェ」を開設してはどうか。

答弁(課長) 認知症だけではなく他の病気を抱えた方が集える癒やしの場所があればと思う。開設する場合の情報を取り寄せ、関係機関と協議する。

Q 地域包括支援センターの福祉人材の処遇改善を問う。

A 現在2人は嘱託。職員としての採用を考えている。

質問 福祉人材の確保。2025年には100万人の介護職が不足すると予測が示されている。福祉人材の処遇改善をどのように考えているかセンター長の配置をされてはどうか。安定した雇用で、住民も安心して相談できると思う。

答弁(課長) 今後の相談事業を進める上で、職員のほうが相談者は安心できると思うので、職員としての採用を考えている。

Q 図書館活用。自宅で蔵書検索できるシステムの設置をどうするか。

A 現在のシステムは平成29年9月リリース満了となる。慎重に検討したい。

質問 各自治体で、魅力的な図書館運営に取り組んでいる。情報ステーションとしての役割、くつろ



Q 図書館でインターネットがつながるパソコン設置をどうするか。

A 利用規程等を協議しながら前向きに考慮していきたい。

1番 山田 陽一 議員



Q 宮床団地建設についてA棟B棟の今後の予定竣工時期、入居時期。

A A棟B棟の工事竣工が10月末日、入居時期は、12月を予定。

質問 現在建設されているA棟B棟の今後の予定として、竣工時期、入居時期また外構工事が完了する時期を問う。本来団地は、ペット等を飼うことができないが従来飼われていた方は、そのままペットを連れての入居が可能なのか。

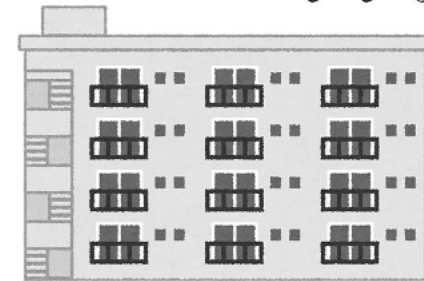
また滞納している方も無条件に入られるのか、滞納がある場合に、どのような対策を取っているか。A棟B棟は、今回満室になるのか、よそ

の地区からの入居、または公募で新たに入居される方を選ぶのか。

答弁 (課長) A棟B棟の建設工事並びに屋外附帯工事も並行して実施しており、A棟B棟の全ての工事竣工が10月末日を予定している。入居時期は12月を予定。

ペットは、住民の方に全て確認して、ペット禁止ということではない。

滞納がある方は、工事が終わるまでに、完全に滞納分を解消しないと入れない。分納計画を立ててもらっている。現在、滞納があつて初年度に入居できない方がいると思う。その場合は、今度C棟と集会所の建築があるので、その中で順番の早い方を入居させる予定。公募しての入居はない。



答弁 (町長) 今の工事は、宮床団地にお住まいの方を中心に建て替えを進めている、200戸を、まずは170戸にして満室にする、それが理想の計画。

170戸が見える時点で宮床以外も考えられる状況が発生すれば慎重に対処したい。

Q 臨時職員、嘱託職員の給料が安いんじゃないか。

A 他町村と比べても著しく給料が低い職種はない。

質問 臨時職員、嘱託職員の給料が安いんじゃないかと思う。時給800円、日給6,400円、一カ月22日計算で14万800円。これから税金等引かれ、11万から12万円程度が手元に残る計算。一カ月生活するに十分な金額だとは思えない。正規職員は、人事院勧告で数%増が見込めるが、それに伴って臨時職員、嘱託職員の給料等増額という考えがあるか。

Q 地区公民館の老朽化に対する町の対応について問う。

A 公民館施設の状態を把握し、更新・統廃合・長寿命化の方針を検討したい。

質問 地区公民館は、地域住民の実際生活に即する生活文化の振興等を目指し、その活動の拠点として重要な施設で有る事は周知の通りで有り、災害時の避難所としての役割も有る。

去る8月7日環境美化活動の際に南糸田区民で公民館の清掃をした際、外周の天井板が剥がれ各所で垂れ下り、基礎・土間コンの亀裂、炊事場の床の撓み等有り、地域の活動にも支障を来しかねない状況。他地区でも有るのでは。

答弁 (課長) 糸田町公共施設等総合管理計画の策定に係る調査を実施している。施設の状況を把握し、更新、統廃合、長寿命の方針を検討。傷みの激しい施設は当面修繕、改修により対応したい。



答弁 (課長) 現在本町においては、福岡県の最低賃金と近隣の町村の状況を勘案して、臨時職員の給料を決定している。一般職については、年齢に関係なく、田川郡では2番目に高い、1日当たり6,400円を支給している。

嘱託職員は職種に応じて各町村が独自に決定しており、同一職種で他の町村と比べても著しく給料が低い職種はない。棒給表に基づき、毎年0.7%から2.2%程度の昇給を実施している。

人事院勧告は、国家公務員に適用される制度であり、臨時職員及び嘱託職員の給料には反映させていない。



Q 債権対策班設置理由及び対策班の嘱託職員の職務について。

A 長期滞納分の重点的取組の為設置。嘱託職員は対策班以外の窓口等も従事。

質問 前町長が設置し、それから4、5年実施され、その効果は、実績として余り表われてないと推測する。対策班に勤務している警備担当嘱託職員は対策班だけの警備か。

答弁 (町長) 事務補助と保安関係で債権対策班だけでなく、各課の対応、警察への各種相談や手続、関係窓口等も従事している。

質問 6月に人件費と滞納整理した金額の差が実績と答弁。

答弁 (町長) 1日でも早く数字で明確な答弁が出来るよう、そういう日が来ると思う。

質問 税使用料等収納状況を問う。

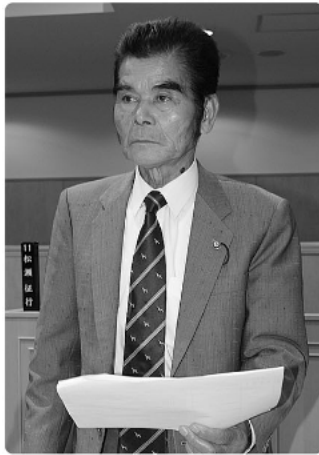
答弁 (町長) 滞納分の収納未済額は約10億4,452万であり、収納率見込みは、27年度につきましては5.33%である。

質問 近年、自治体を中心とした町興しの為の盆踊り大会が近隣の自治体でも催されている。特に香春町では、三千人位参加して盛大におこなわれている。香春岳鬼ヶ城落城物語を題材とした香春盆口説きや炭坑節等を踊



A 盆踊りと云う提案、まずは、これを検討してみる価値がある。

Q お祭り広場の活用、盆踊り大会等イベントを開催してはどうか。



5番 早麻 章二 議員

り、和気合々みんなで楽しんでいる。過去糸田に於ても、炭坑全盛時代には盛大におこなわれていた事、懐かしく想い出される。

町民仲良く里帰りした人達とも交流する場所の提供、町興しに色々なイベントを開催しては、その機会にお互いの絆やその出会いが縁結びの場となれば、人口減少の歯止めの一助にも。

答弁 (町長) 現在お祭り広場は唯一糸田町の山が集約する中心の場所、自治体挙げてという議員御指摘の盆踊り真つ先に検討してみたい。

11番 松瀬 征行 議員



Q 糸田町立病院改革プランについて、病院改革の望ましい形を問う。

A ネットワークの中に存在する町立病院として将来は、存続させたい。

質問 町立病院は、住民の生活に必要な医療、福祉を提供する中核として重要な役割を担う。病院改革プランの法的根拠と概要及び筑豊地区公立病院の現状を問う。

答弁(事務長) 総務省は、地域ごとに適切な医療提供体制の再構築を図る地域医療構想を含めた第2次の新公立病院改革プランの策定を現在求めている。

県立病院は全て民営化、筑豊地区

は、川崎町、鞍手町の町立病院が独立行政法人化、頤田町立病院、田川新生病院は民営化、コスモス診療所(福岡市)は病棟をなくして縮小した。

質問 病院改革プランの委託と係わりについて。

答弁(事務長) 公募で3社あり審査の結果、株式会社麻生に決定した。病院は仕様書を提供し、会社は提案書で対応する。

質問 病院改革プランの進捗状況について問う。

答弁(事務長) 現在は、進行中で2月中旬に策定予定。

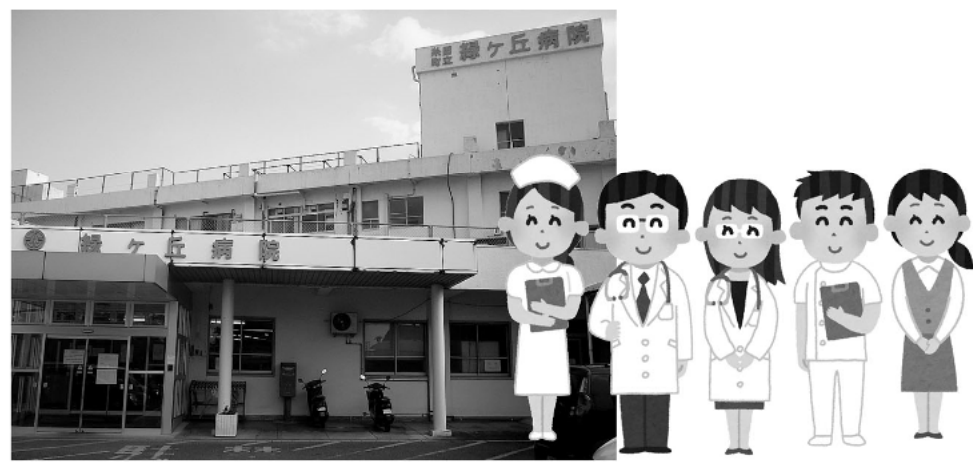
質問 病院改革の望ましい形として私は、耐震性の町立病院建て替えか、新築を切望するが、町長の望む形、有り様を問う。

答弁(町長) 来年2月の改革プランの道しるべに従って医療行政を進める。将来に対応出来る、順応できる医療機関として存続させたい。

質問 病院改革プランの住民への説明責任について、住民の理解と納得を得るため前広に事前

説明と事後説明の必要性、必然性を問う。

答弁(町長) 専門業者に委託中で住民に説明する段階でない。病院の今後の行方、誤らない、間違いのない方向に医療行政を進める為今委託している。時間をいただきたい。



Q 障害者差別解消法を生かす基本姿勢を問う。

A 糸田町もこの法律を機に、本当に住みよい町づくりに取り組む。

質問 障がい者と共に暮らす町づくり、障害者差別解消法に関連して質問する。

質問 障がい者に適切に対応する為のガイドライン(対応要領、対応指針)の策定状況について。

答弁(課長) 対応要領は策定済みで糸田町の職員に適用する。

質問 住民の関心と理解を深める為の啓発活動は。

答弁(課長) 職員には、研修会を実施しており町民の方は広報なり周知を計りたい。

質問 障がい者の相談窓口や解決対応の為障害者差別解消支援地域協議会設置の状況は。

答弁(町長) 田川市郡の広域で設置の方向で協議中だ。



認した上で、入札行為に至ったものである。工事変更については議会に報告また提案はしなくてもいいとは、なっているかもしれないがしてはならないとはなっていない。議会に提案報告をしないのは道義的にいかなものかと思う。

答弁(町長) タイミングが過ぎてしまった。真摯に対応する。

Q 前町長の意思に反してまで工事変更をしなくてはならなかった理由。

A 変更が伊藤前町長の意向に反しているとは思わない。

質問 この事業は前町長の思いと考えがいつぱい入った事業である。いい団地長持ちのする団地建設を目指すとしていた。雨風日等の当たる外壁等には耐久性のいい製品を使わなければと考えていた。その結果が、前町長と職員たちが精神込めてつくり上げた変更前の設計である。

佐々木町長が施政方針において前町長の意思を継承すると力強く言われている。前町長の意思に反してまで外壁塗装の品質を落とした供用廊下に張ることになっていた防水ビ

ニールシートとベランダの塗膜塗装を取りやめなければならなかった理由は何か。

答弁(町長) テラス、廊下供用部の塩ビニールシート張りは防水の必要はなく近隣の公営住宅で採用されている実績もない。塗装当初の塗装は費用が相当かかる。今後の建て替えを考慮すると莫大な費用負担となる。意向とは団地の建て替えである。



Q 特別な理由も見当たらない工事を変更しなければならなかった理由を問う。

A 変更は私が決めたのではない。

質問 過去の建築工事において当然変更はあったと思う。例えば基礎工事で岩が出てきて掘削できない。また材料、部品がどうしても

準備できない。建物を建てることにおいてどうしても取りつかないなどの特別な事情がない限り入札後の変更はありませんし、あつてはならない。したがって特別な理由も見当たらないのに塗装、ビニールシート等の変更をどうしても入札後にしなくてはならなかった特別な理由は何か。

答弁(町長) 指名競争入札だけで金額を、最低金額で決めた。そういう入札方式だから変更見直しは十分あり得る。こういう入札方式は中身確定して決めるにはものすごく時間がかかる。品質評価から材料の判定までしなくてはならない。だから今回そういう考え方で変更を私が決めたんじゃない。

Q 今後も品質を落としたまま進めていくのか。

A 続いていくものと信じている。

質問 今後も防水シートを張らずまた塗装の品質を落としたまま団地の建て替えを進めていくのか。自分自身ではかなり質の高いお手本をつくったと思っ

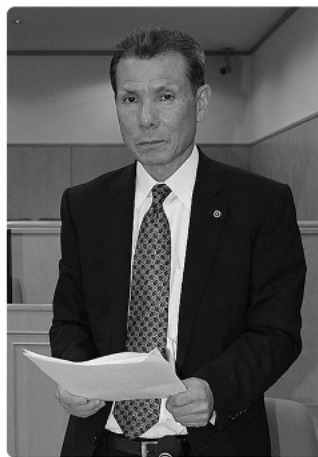
質問 執行議会が慎重審議を重ね、町長が議会に提案し議会が承

A タイミングが過ぎてしまった。
Q 事前に議会に提案また報告できなかった理由を問う。

答弁(町長) 指示というより程度として、この程度でと提案し、検討した結果を全部尊重した。

A 結果から見れば指示したのは私である。

Q 平成27年9月1日宮床団地入札後の工事変更について問う。



6番 谷口 輝昭 議員

総務文教振興常任委員会

総務文教振興常任委員会とは…

主に、総務課・税務課・地域振興課・教務課に関する事項を審議調査します。

マイナンバー税番号制度などのシステム料 約1,277万円

- 説明** 光ケーブル保守作業委託料 約17万円
基幹システム更新作業委託料 約432万円(国からの補助金 約240万円)
各自治体間共有運用のためのセキュリティシステム等委託料 約827万円



学校施設基本設計 業務委託料 約1,000万円

- Q** 委託料の算出根拠は
A 今回、建設費が1施設4億円から5億円かかるのでその1%。
説明
◆給食センター 約500万円
◆体育館 約500万円
(避難施設として建てるならば補助金がある)



学校管理費 約190万円

- Q** 全体的に水はけをよくできないか
A 中央部分の水はけは良好だが、学童クラブ側に水が集中するので水路をつくる。
◆小学校運動場水路改修工事 90万円
◆中学校多目的便所設置工事設計委託料 100万円
説明 中学校2階の身体障害者用トイレ。1階には設置済み。



建設厚生常任委員会

建設厚生常任委員会とは…

主に、住民課・福祉課・建築課・土木課・水道課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審議調査します。

広域行政事業 約2,344万円

- ◆田川郡東部環境衛生施設組合負担金
(ごみ・し尿処理施設建設にともなう造成や経常経費など負担 約2,071万円)
◆ごみ・し尿処理施設建設事務委託負担金
(大任町に委託している建設事務経費 約273万円)



宮床町営住宅 改善事業費 約70万円

- Q** C棟の解体はいつか
A 平成29年中に解体する。その後造成、建設予定。
説明 C棟設計住宅性能評価・確認申請手数料



隣保館運営費 約36万円

- Q** どんなものを購入したか
A 修繕費(約2.5万円)
・廊下の網戸交換(枠を含めた2枚)
・備品購入費(約33万円)
◆隣保館教室で使用するもの
・プロジェクター、プリンター、スキャナー、ラミネーター、ホワイトボード、ノートパソコン1台



水道企業団への負担金 約466万円 (平成28年度上水道事業特別会計補正予算)

- 経営戦略策定に伴う田川地区水道企業団への負担金
説明 総務省からの要請。平成32年度までに公営企業が中長期計画を策定すること。人口・料金・将来予測などを入れ、専門家への調査経費調査経費。



休日・ナイター議会について

議会を休日や夜間に開催する町村が増える中、糸田町も今後の方向性を検討するために全員で議論をおこないました。そのなかでも「いつでもできるように法律的な体制を整備することが必要」「町民にアンケートをとってみては」「災害時の議会の行動のためにも」といった意見が出され、今後も引き続き全員協議会で検討していくことになりました。



反問権について

一般質問等で質問する時に議員からだけでなく、執行部のほうからも論点を整理するために尋ねることができる「反問権」の条例化について議論しました。

「議員の資質向上のためにも必要」「条例までつくる必要がない」「感情的な口論になる可能性がある」「導入にはもっと検討し、慎重にすすめる必要がある」などと言った議論がなされ、次回定例会から「議長の許可を取った上で、論点を整理するための質問であれば認める」と冒頭口述することになり、条例については今後、検討していくことになりました。



全員協議会

9月定例会の会期中に全員協議会が開催され、次のことが協議されました。(全員協議会とは、議員12人全員で、議案の審査や議会の運営に関し、協議又は調整をおこなうための場。)

田川広域定住自立圏形成構想について

定住自立圏とは地方から大都市への人口流出を抑制するため、総務省が推進する政策です。「中心市」(人口5万人以上で昼夜間人口比率が1以上の都市)と生活、経済面で関わりが深い「周辺市町村」と協定を締結し、定住自立圏を形成。中心市と構成する市町村との間で、医療・福祉・教育などの生活機能の強化、交通・インフラの整備と圏域内の交流・人材育成など人口定住に必要な機能の確保・充実のため、中心市に8,500万円、連携市町村に1,500万円の財政支援が受けられる人口減少の抑制を図る政策であると説明があり、その事業内容や効果について8月23日、9月16日と2日間の全員協議会で議論しました。



☆ 田川市郡では田川市が中心市となる



工事進捗状況
のお知らせ



修理田橋



近年中に完成予定

宮床町営住宅



2棟完成 1月入居完了予定

工 事 名	業 者 名	予定額(円)	金額(円)	落札率(%)
桃山地区配水管布設替工事(1工区)	ケイエス㈱	8,230,000	7,950,000	96.60
桃山地区配水管布設替工事(2工区)	原設備	7,180,000	6,940,000	96.66
宮床団地建設工事(A棟屋外附帯工事)	㈱田中建設	26,970,000	23,810,000	88.28
宮床団地建設工事(B棟屋外附帯工事)	㈱安方工務店	30,329,000	26,780,000	88.30
野間浦水路改修工事(1工区)	日新産業㈱	8,000,000	7,800,000	97.50
松山・金田線法面改修工事	中村総建	2,136,000	2,070,000	96.91
宮床地区急傾斜地崩壊対策工事	㈱幸組	10,341,000	8,955,000	86.60

研修視察

常任・議会運営委員長・副委員長研修会

- 日 時 7月12日(火) 午前10時30分～午後3時00分
- 場 所 福岡県自治会館 2階 大会議室
- 内 容 演題「委員会制度及びその運営について」
- 講 師 田口 一博氏(新潟県立大学国際地域学部 准教授)
- 参 加 者 竹田 照美・小嶋 康子・松岡 久・村上 秀二・城島 信幸・松瀬 征行



平成28年第3回糸田町議会定例会(9月13日～9月20日)

議 案 名	結 果
平成27年度糸田町一般会計歳入歳出決算認定について	継続
平成27年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	継続
平成27年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
平成27年度糸田町学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
平成27年度糸田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続
平成27年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
平成27年度糸田町上水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
糸田町議会の議決に付すべき事件に関する条例	可決
糸田町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
糸田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決
平成28年度糸田町一般会計補正予算	可決
平成28年度糸田町上水道事業特別会計補正予算	可決
糸田町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
糸田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決

継続審査となった決算議案を審議する委員会です。

決算特別委員会 委員名簿

委員長	谷 口 輝 昭
副委員長	早 麻 章 三

氏 名	所属常任委員会
山田 陽一	総務文教振興
小嶋 康子	総務文教振興
谷口 輝昭	総務文教振興
城島 信幸	建設厚生
田中 隆之	建設厚生
早麻 章三	建設厚生



議会活動

7月

日にち(曜日)	内 容
1日(金)	同和問題啓発強調月間街頭啓発
4日(月)	田川郡町村議会議長会
5日(火)	議会広報常任委員会
8日(金)	田川郡東部環境衛生施設組合全員協議会 田川地区消防組合議会臨時会
12日(火)	常任・議運委員長・副委員長研修会
13日(水)	建設厚生常任委員会協議会
15日(金)	下田川清掃施設組合定例会 議会広報常任委員会
19日(火)	福岡県介護保険広域連合 田川・直方支部運営委員会
21日(木)	田川郡町村議会議長会監査
22日(金)	田川地区水道企業団臨時議会
26日(火)	同和問題講演会
28日(木)	糸田町民生委員推薦会

8月	
日にち(曜日)	内 容
1日(月)	田川郡町村議会議長会
3日(水)	田川地区斎場組合議会定例会
5日(金)	田川地区広域政策協議会 全員協議会
23日(火)	建設厚生常任委員会協議会
26日(金)	田川郡東部環境衛生施設 組合臨時会

A decorative illustration at the bottom of the page. On the left is a stylized plant with thin, branching stems and small, oval-shaped leaves. To the right of the plant are two stylized fish, one larger and one smaller, both with vertical stripes. There are also some small, light-colored circles scattered around the fish.

9月	
日(曜日)	内 容
2日(金)	議長団説明
9日(金)	議会運営委員会 議会広報常任委員会
13日(火)	本会議初日
14日(水)	建設厚生常任委員会
15日(木)	総務文教振興常任委員会 全員協議会
16日(金)	議会広報常任委員会 伊良原ダム等視察
18日(日)	歴史と人権を考える日 「献花式」
20日(火)	本会議最終日
29日(木)	田川郡町村議会議長会
30日(金)	飯塚駐屯地 創立五十周年記念行事



議長交際費

議長交際費 執行状況(平成28年7月～9月)

	区 分	摘 要	支払金額
8月5日	慶 弔 費	香典1件、生花1件	25,000円
8月12日	慶 弔 費	初盆(5,000円×1件・3,000円×6件)	23,000円
9月5日	研 修 費	田川郡町村議会議長研修会負担金	30,000円
9月30日	交 際 費	飯塚駐屯地創立50周年記念行事会費	5,000円
合 計			83,000円

糸田町公式ホームページでも公開しています。



未来の宝 いとだっ子

火曜日の夜7時、町民体育館内でランニングする卓球部員。10周走る、腹筋運動、腕を鍛えるトレーニングをする。監督・コーチによる卓球指導。サーブ50本で直径4cmの白球を打ち返す。バックハンド、フォア、カット、サーブをしっかり身につける訓練。部員たちは、ニコニコしながら励んでいる。

松岡斐子監督は「子どもたちが伸び伸びと自由に卓球を楽しんでほしい」。山神圭史コーチは「基本の型をしっかりと身につけて中学校になってもつづけてもらいたい。が糸田中の部活にないのが残念」と語る。

練習試合をする部員の目はキラキラ輝き、卓球を楽しむ。未来の宝いとだっ子の元気が弾ける。

只今、部員募集中（問合せは教務課 社会教育係へ 電話26-0038）



議会を傍聴に来ませんか

- 議会の定例会は(年4回) 3・6・9・12月に開催されます。
- 本会議は、住所と氏名を記入だけで傍聴できます。
- 委員会は、委員長許可により傍聴できます。
- 次回第4回は、12月上旬に開催予定です
(詳細につきましては、決定次第、防災行政無線等でお知らせします。)

「議会だより」アンケート募集中!

皆様の声をお聞かせください。

設置場所

- ・糸田町役場1階 住民課前
- ・糸田町役場3階 議場傍聴席入口
- ・糸田町社会福祉センター 入口正面



編集後記

最近、地震・台風など頻繁に起きている。熊本・大分のことを思うと胸が痛む。いつ大災害にあうか誰もわからないが、自然の猛威に、万全な備えと逃げる知恵をもって対応していくしかないと思う。



糸田町も毎年、防災講演会が開催されている。専門家の話は、災害に対しての、人間の姿勢を、考えさせられる。今号の表紙の写真は、昨年おこなわれた「田川地区総合防災訓練」。さまざまな災害を想定して各市町村の消防団、ガス協会や警察・自衛隊などの連携でおこなわれた。川に流され、孤立した人々を救助する場面を来賓席側から、撮影したものである。町長、議長・私も消防議員として招かれた。訓練終了後は、大任町の女性たちと自衛隊が炊いたご飯でおにぎりなどがふるまわれた。

日頃の訓練が、いざという時に、大切な命を守る行動に繋がると思う。広報委員も日常の研鑽・町民との対話で、町のためになる力をつけていきたい。

議会広報常任委員会

委員長 小嶋 康子
副委員長 松瀬 征行
委員 竹田 照美
委員 松岡 久
委員 中原 詔蔵
委員 井手元正人

発行責任者

議長 井手元正人

問い合わせ

〒822-1392
糸田町 1975 番地 1
糸田町議会事務局
電話 26-4353